



2020年3月期 第3四半期 決算説明会資料

ネットワークシステムズ株式会社 [証券コード 7518]

2020年3月12日

- | | |
|---|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none">■ 特別調査委員会の最終報告書について P.02-05・ 本不正行為以外の不適切な取引・ 特別調査委員会の提言：原因分析と再発防止策・ 特別調査委員会の提言を踏まえた再発防止策 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none">■ 業績について P.06-17・ 連結財務諸表への累計影響額の概要・ 各連結会計年度の訂正の概要・ 2020年3月期 Q3（10-12月）業績概要・ 2020年3月期 Q1-3累計（4-12月）業績概要・ 2020年3月期 通期業績の見通し・ 中期経営指標 |

1

■ 特別調査委員会の最終報告書について

- ・ 本不正行為以外の不適切な取引
- ・ 特別調査委員会の提言：原因分析と再発防止策
- ・ 特別調査委員会の提言を踏まえた再発防止策

■ 1. 費用の付替え

- ・ 概要

当社以外の第三者を利用して、実案件の原価を架空案件によって調整していたもの

- ・ 影響額

売上原価1,500万円を未成工事支出金に振り替え

■ 2. 約5,400 万円の不明金

- ・ 概要

落札予定業者と調整して、実案件の原価を別案件に付替えていたもの。落札予定業者が当該案件を失注したことで調整金額が不明金となったが、当社元社員Aが、当社以外の第三者を介して、当社の正規の手続きを経ずに検証機器の購入に利用したもの

- ・ 影響額

原価性を有しない用途不明の資金流出取引と認められることから、売上原価及び未払消費税を特別損失5,800万円に振り替え

原因分析

■ 不正リスクの管理に関する問題点

- ルール等の形骸化
- リスク管理態勢上の問題点
- 内部統制に係る問題

■ コンプライアンス活動に関する問題

- コンプライアンス活動の空回り
- 経営層・幹部層の取組み姿勢の問題
- 2013事案を踏まえた再発防止策の不徹底
- 組織風土

再発防止策

■ 経営層・幹部層による営業現場の実態把握

- 経営層、幹部層による全部門における現場の実情の的確な把握と、実効性のある報告・連絡・相談態勢の構築
- 中央省庁案件における商流取引の抜本的な見直し

■ リスク管理態勢の見直し

- CROを中心としたリスク管理活動の推進体制の再構築と、CROによる能動的・積極的な活動の推進
- 経営委員会及びリスク・コンプライアンス委員会のあり方のゼロベースでの検証・検討
- リスク管理全般及び不正リスクの管理に関する責任部門及びミッションの明確化
- 各部門における重要リスクの識別・評価と、他部門による当該重要リスクの検証・検討
- 役職員のリスク感度の向上とルール等の実効性の確保
- 内部監査室等のモニタリング部門の強化

■ 内部統制に関する見直し

- 営業担当者と仕入先・外注先との癒着防止策の検討と実行
- 直送取引の業務フローの見直しと、検収確認の方策の検討と実行
- 購買部門の役割再定義
- 外注先調査権限の強化

■ コンプライアンス活動の見直し

- コンプライアンスの実践に関する経営層や各部門の幹部層による能動的・積極的なコミットメント
- 自らが考えるコンプライアンス活動の実践
- 組織風土の検証とより良い風土作り

■ 営業取引に関する基本方針

- ・ 当社グループの付加価値（当社独自のサービスやソリューション等）が認められる案件のみを対応します。

■ リスク管理体制の強化

- ・ 再発防止策の実行に関する業務ルールの変更を全社統一的に推進することを目的として営業統括室を4月1日付で社長直轄として新設する予定です。
- ・ 各部門は、期初に自部門のリスク分析を行い、「リスク調査シート」を作成しリスク管理室に提出します。リスク管理室は客観的な視点からその検証と判断を行います。
- ・ リスク管理活動の推進方針や体制を抜本的に見直します。併せてリスク・コンプライアンス委員会の機能及びそのメンバーに関しても再検討を行います。
- ・ コンプライアンスに対する意識強化として、全社員（経営層、幹部層を含む）を対象とした研修を実行します。

■ 業務統制に関する見直しと強化

- ・ 営業部門の業務役割を見直し、その役割と権限を明確にします。発注権限と検収権限を営業部門から切り離します。
- ・ 2020年4月1日付けで購買機能を独立（現在は「グループ購買・物流部」）し、役割の強化を図ります。
- ・ 仕入購買に関する契約を締結し定常的に仕入取引を行っている仕入先以外からの購入においては、相見積もりを必須とし、その仕入先の妥当性の確認を購買部が実施します。
- ・ 仕入先からの直送取引は原則禁止とします。納期等の事情により直送が必要な場合は、商流取引に該当しないことの承認を購買部から事前で得るとともに、お客様の検収確認を義務付けます。
- ・ 人事ローテーションと、部門内における担当業務の共有（属人化防止）を徹底します。

■ コンプライアンス活動の見直し

- ・ 各部門が期初に作成する「コンプライアンスの活動計画」に対して、管掌する役員及び関係する幹部層は、コンプライアンス活動に関する自らのコミットメントを記載し、役職や職位に応じて取締役会又は経営委員会が四半期ごとにレビューを実施します。
- ・ 当社グループのゴールやミッション、行動指針をまとめた「ビジョンブック」の更新を行います。更新にあっては社内横断的にメンバーを選定し、新たな組織風土の形成と実現を図るとともに、社内での浸透を再徹底します。

2

■ 業績について

- ・ 連結財務諸表への累計影響額の概要
- ・ 各連結会計年度の訂正の概要
- ・ 2020年3月期 Q3（10-12月）業績概要
- ・ 2020年3月期 Q1-3累計（4-12月）業績概要
- ・ 2020年3月期 通期業績の見通し
- ・ 中期経営指標

連結財務諸表への累計影響額の概要

連結財務諸表への累計影響額について、
2月13日及び2月14日に公表した内容・金額、及び、今回追加された内容・金額は以下の通りです。

(単位：億円)	2月13日及び2月14日公表分		新規追加分		合計
	本不正行為	本不正行為に係る資金決済差額への手当	本不正行為以外の不適切な取引	総額処理から純額処理への変更	
売上高	△ 276	-	-	△ 44	△ 321
営業利益	△ 36	-	-	-	△ 36
経常利益	△ 36	-	-	-	△ 36
当期純利益	△ 36	△ 51	△ 5	-	△ 93

各連結会計年度の訂正の概要

各連結会計年度の訂正額は以下の通りです。

	2015/03 通期		2016/03 通期		2017/03 通期		2018/03 1Q		2018/03 2Q累計		2018/03 3Q累計		2018/03 通期	
	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後
売上高	143,173	141,529	145,180	140,170	157,236	153,124	29,794	28,015	70,696	66,126	107,375	102,791	161,107	153,349
営業利益	4,205	4,121	2,453	1,927	5,747	5,565	414	(76)	2,311	1,580	3,860	3,123	8,241	7,256
経常利益	4,249	4,115	2,594	2,068	5,701	5,519	400	(90)	2,370	1,639	3,976	3,238	8,418	7,433
当期純利益	2,457	1,816	1,508	1,015	3,822	3,584	248	(227)	1,569	863	2,640	1,762	5,682	4,401
純資産	57,113	56,472	55,533	54,398	57,328	55,954	56,377	54,527	57,839	55,760	57,529	55,278	60,363	57,708
総資産	103,623	103,013	102,613	99,417	103,365	102,038	97,206	95,279	98,205	96,078	96,618	94,392	106,827	102,146

	2019/03 1Q		2019/03 2Q累計		2019/03 3Q累計		2019/03 通期		2020/03 1Q		2020/03 2Q累計	
	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後
売上高	33,418	30,278	80,598	77,396	122,432	116,102	181,935	174,838	36,038	35,571	88,723	82,164
営業利益	1,511	1,103	4,935	4,541	7,759	7,142	13,012	12,166	2,107	1,709	7,096	6,078
経常利益	1,533	1,125	5,043	4,649	7,956	7,339	13,258	12,412	2,216	1,817	7,313	6,294
当期純利益	1,035	(2,203)	3,309	241	5,303	942	8,913	4,323	1,518	2	5,055	2,901
純資産	60,247	54,353	62,753	57,030	63,128	56,112	66,858	59,614	66,565	57,805	70,358	60,960
総資産	104,161	98,277	109,828	104,097	107,085	100,222	125,498	118,313	120,406	111,623	124,275	119,432

2020年3月期 第3四半期（10-12月） 業績概要

(単位：百万円)	2019/03 Q3 実績		2020/03 Q3 実績		前年同期比	
					増減額	増減率
受注高	36,762		54,830		+18,068	+49.1%
売上高	38,705	100.0%	40,681	100.0%	+1,975	+5.1%
売上原価	28,655	74.0%	29,418	72.3%	+762	+2.7%
売上総利益	10,050	26.0%	11,263	27.7%	+1,213	+12.1%
販売費及び一般管理費	7,449	19.3%	7,634	18.8%	+185	+2.5%
営業利益	2,600	6.7%	3,628	8.9%	+1,028	+39.5%
経常利益	2,690	6.9%	3,642	8.9%	+952	+35.4%
親会社株主に帰属する当期利益	701	1.8%	2,477	6.1%	+1,776	+253.2%

継続してセキュリティ対策やクラウド基盤ビジネスが好調に推移し、受注高・売上高・各利益が前年同期比で増加

(注) 1. 本数字は訂正額を反映したものです。

2. 2020年2月14日公表の予想値との主な差分：上半期の特別損失に対する法人税の取り扱いを精査した結果、当期利益が約3.5億円減少しています。

2020年3月期 第3四半期累計（4-12月） 業績概要

(単位：百万円)	2019/03 Q1-3 累計実績		2020/03 Q1-3 累計実績		前年同期比	
					増減額	増減率
受注高	130,898		148,978		+18,079	+13.8%
売上高	116,102	100.0%	122,845	100.0%	+6,743	+5.8%
売上原価	86,264	74.3%	89,853	73.1%	+3,589	+4.2%
売上総利益	29,838	25.7%	32,992	26.9%	+3,154	+10.6%
販売費及び一般管理費	22,695	19.5%	23,285	19.0%	+590	+2.6%
営業利益	7,142	6.2%	9,706	7.9%	+2,564	+35.9%
経常利益	7,339	6.3%	9,937	8.1%	+2,597	+35.4%
親会社株主に帰属する当期利益	942	0.8%	5,379	4.4%	+4,436	+470.6%
受注残高	83,716		101,395		+17,678	+21.1%

受注高・売上高・各利益それぞれにおいて、前年同期比で増加

(注) 1. 本数字は訂正額を反映したものです。

2. 2020年2月14日公表の予想値との主な差分

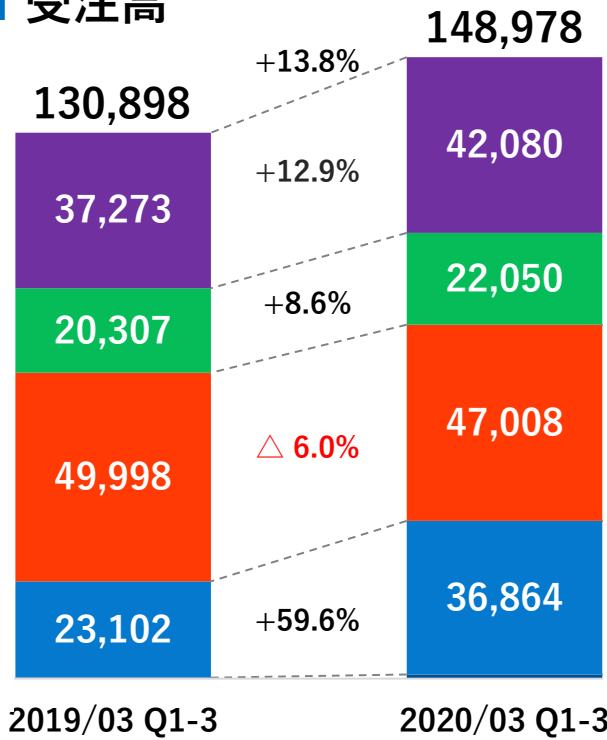
①案件における付加価値の有無を精査した結果、上半期の1案件の取り扱いを総額処理から純額処理へと変更し、受注高・売上高が約14億円減少しています。

②上半期の特別損失に対する法人税の取り扱いを精査した結果、当期利益が約3.5億円減少しています。

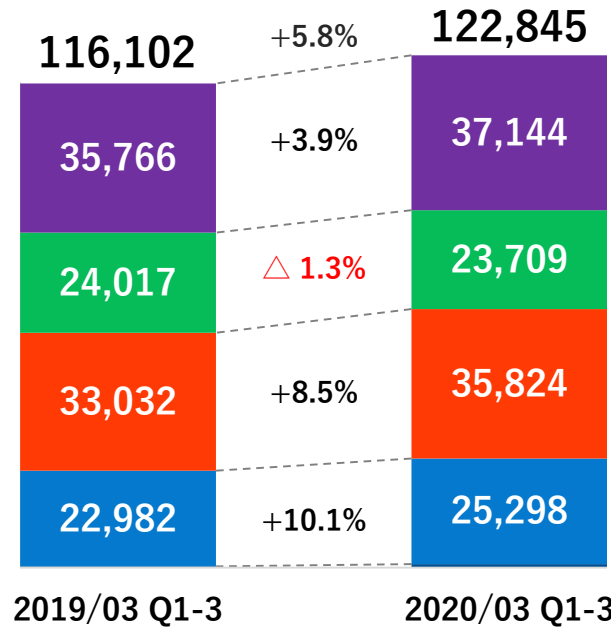
マーケット別 受注高・売上高・受注残高

(単位：百万円)

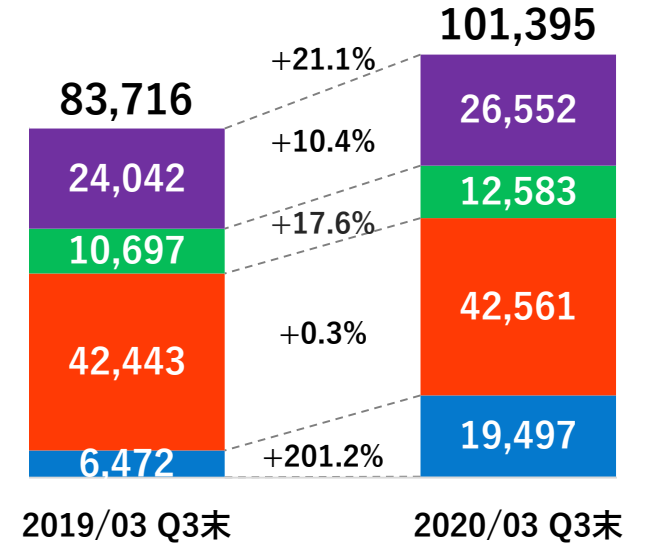
■ 受注高



■ 売上高



■ 受注残高



エンタープライズ

セキュリティ対策、クラウド基盤、働き方改革、及び、注力市場のスマートファクトリーのビジネスが堅調

通信事業者

サービス基盤ビジネスを中心に堅調

パブリック

注力市場のヘルスケアや教育を含め、セキュリティ対策やクラウド基盤ビジネスが堅調

パートナー

主要パートナー向けのビジネスが堅調。また、第3四半期に5G案件が発生

(注) 本数字は訂正額を反映したものです。訂正対象はパブリック市場です。

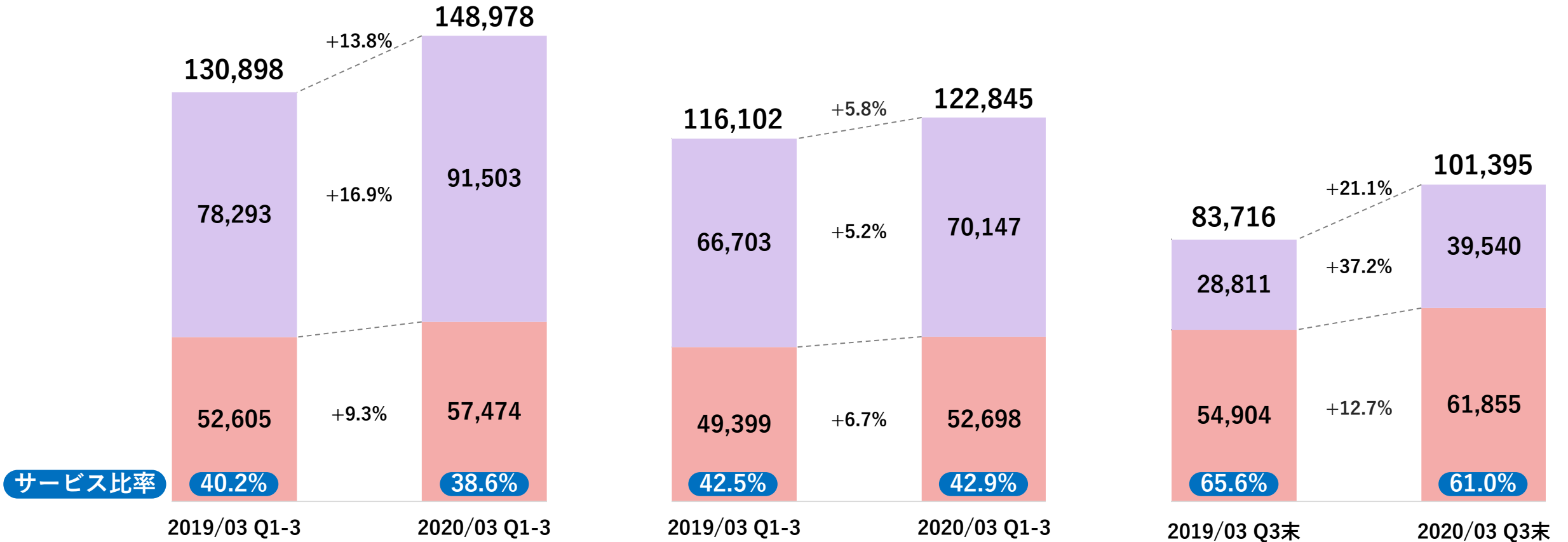
商品群別 受注高・売上高・受注残高

(単位：百万円)

■ 受注高

■ 売上高

■ 受注残高



機器	<p>「統合サービス事業」が拡大し、サービスの受注高・売上高・受注残高が順調に増加。 一方で、機器中心の5G案件が発生したことで、受注高・受注残高のサービス比率は低下。</p>
サービス	

(注) 本数字は訂正額を反映したものです。

(単位：百万円)		報告セグメント					計	その他	合計	調整額	連結
		エンタープライズ	通信事業者	パブリック	パートナー						損益計算書
										計上額	
2020/03 Q1-3 【当期】	売上高	37,150	23,712	35,829	25,300	121,993	879	122,872	(27)	122,845	
	セグメント利益	3,739	2,031	2,104	2,483	10,359	0	10,358	(652)	9,706	
	利益率	10.1%	8.6%	5.9%	9.8%					7.9%	
2019/03 Q1-3 【前期】	売上高	35,766	24,017	33,032	22,982	115,797	416	116,214	(112)	116,102	
	セグメント利益	1,781	2,509	1,467	1,724	7,482	132	7,615	(473)	7,142	
	利益率	5.0%	10.4%	4.4%	7.5%					6.2%	

- (注) 1. 本数字は訂正額を反映したものです。訂正対象はパブリック市場です。
 2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、前期はサーバサービス事業等を、当期はグローバル事業等を含んでいます。
 3. セグメント利益の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2019.03.31	2019.09.30	前年度末比	
	実績	実績	増減額	増減率
資産合計	118,313	119,579	1,265	+1.1%
流動資産	106,225	109,456	3,230	+3.0%
現預金+有価証券	25,305	26,469	1,163	+4.6%
売掛金+受取手形	42,928	34,748	(8,180)	△ 19.1%
棚卸資産	14,290	25,256	10,965	+76.7%
その他	23,700	22,982	(718)	△ 3.0%
固定資産	12,087	10,123	(1,964)	△ 16.3%
有形固定資産	5,240	4,728	(511)	△ 9.8%
無形固定資産	1,434	1,599	164	+11.5%
投資等	5,412	3,795	(1,617)	△ 29.9%
負債合計	58,699	57,732	(967)	△ 1.6%
流動負債	49,906	48,617	(1,289)	△ 2.6%
固定負債	8,793	9,115	321	+3.7%
純資産合計	59,614	61,847	2,233	+3.7%
株主資本	59,387	61,346	1,958	+3.3%
その他の包括利益累計額	62	205	142	+226.9%
新株予約権	163	180	16	+10.1%
非支配株主持分	-	115	115	-
負債純資産合計	118,313	119,579	1,265	+1.1%

(注) 本数字は訂正額を反映したものです。

	2019/03 Q1-3	2020/03 Q1-3	前年同期比	
			増減額	増減率
為替レート（\$円）	109.70	109.00	(0.70)	△ 0.6%
1株当たり当期利益（円）	11.14	63.51	+52.37	470.1%

	2019/03 Q3末	2020/03 Q3末	前年同期比	
			増減数	増減率
従業員（人）	2,316	2,449	+133	+5.7%

- (注) 1. 本数字は訂正額を反映したものです。
 2. 当期から連結対象の3社（ネットワンネクスト株式会社、エクストリーク株式会社、Net One Asia Pte. Ltd.）、及び、非連結子会社への出向の影響を除いた場合の、当第3四半期末の従業員数は2,293名です。

2020年3月期 通期業績の見通し (※2月14日公表の修正値から変更なし)

(単位：百万円)	2020/03 通期 期初予想		2020/03 通期 修正予想 [2020年2月14日公表]		期初予想比	
					増減額	増減率
受注高	189,000		195,000		+6,000	+3.2%
売上高	187,500	100.0%	188,000	100.0%	+500	+0.3%
売上原価	139,800	74.6%	140,300	74.6%	+500	+0.4%
売上総利益	47,700	25.4%	47,700	25.4%	±0	±0%
販売費及び一般管理費	32,700	17.4%	32,700	17.4%	±0	±0%
営業利益	15,000	8.0%	15,000	8.0%	±0	±0%
経常利益	15,000	8.0%	15,000	8.0%	±0	±0%
親会社株主に帰属する当期利益	10,200	5.4%	9,400	5.0%	(800)	△ 7.8%

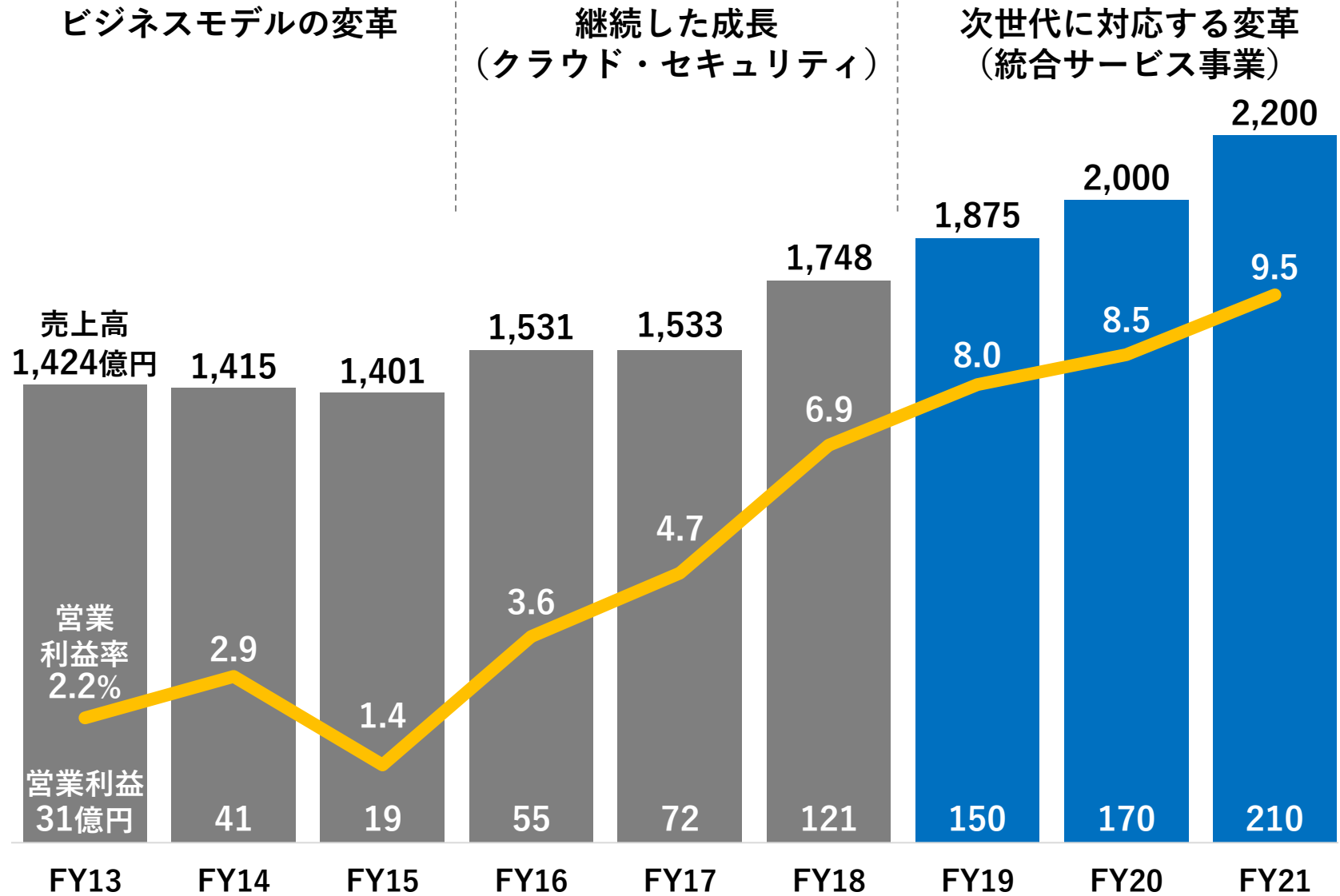
受注高・売上高・営業利益・経常利益は期初予想を達成する見込み
本不正行為に関する特別損失を踏まえ、親会社株主に帰属する当期利益は減少の見込み

(注) 本数字は訂正額を反映したものです。

中期経営指標

公表値から変更なし

	FY18 実績	FY21 目標
営業 利益率	6.9%	9.5%
サービス 比率	42.6%	50%
ROE	7.4%	16.8%



(注) 本数字は訂正額を反映したものです。

つなぐ ∟ むすぶ ∟ かわる



net one